主題

2024年11月1日(金) 8:55 ~ 10:10 第1会場

## 主題1 AIS 原因究明へ向けて

座長: 海渡 貴司（大阪労災病院 整形外科）

[M1-1]

胸椎を主カーブとする思春期特発性側彎症における骨代謝動態とＣｏｂｂ角の関係—骨形態計測による検討—

Relationships between metabolic dynamics evaluated by bone histiomorphometry and curve magnitude in primary thoracic adolescent idiopathic scoliosis

○佐藤 雅之[1], 大橋 正幸[1], 田仕 英希[1], 渋谷 洋平[1], 湊 圭太郎[1], 久保田 美緒[1], 渡辺 慶[2], 平野 徹[3] (1.新潟大学医歯学総合病院 整形外科, 2.新潟脊椎外科センター, 3.新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院)

[M1-2]

Lenke type1のAISにおける胸椎椎間関節の形態の評価と側弯症の進行との関係、下関節突起の骨切りの幅の定量化についての検討

Assessment of thoracic facet joint morphology in adolescent idiopathic scoliosis of Lenke type 1 and its relationship to scoliosis progression.

○水谷 雅哉[1], 小谷 俊明[1], 佐久間 毅[1], 飯島 靖[1], 大鳥 精司[2] (1.聖隷佐倉市民病院, 2.千葉大学医学部附属病院 整形外科)

[M1-3]

思春期特発性側弯症における低骨密度とカーブ重症化の関連性の検討

Bone mineral density may be a factor in determining scoliosis severity in AIS patients

○柴田 峻宏, 武田 和樹, 鈴木 悟士, 伊賀 隆史, 大久保 寿樹, 尾崎 正大, 名越 慈人, 松本 守雄, 中村 雅也, 渡辺 航太 (慶應義塾大学 医学部)

[M1-4]

BMIと思春期特発性側弯症の遺伝的な因果関係: A mendelian randomization study

Genetic causality between body mass index and adolescent idiopathic scoliosis -A mendelian randomization study

○大伴 直央[1,2,3], 米澤 善朗[2,4], 武田 和樹[1,2], 松本 守雄[1], 日本側弯症 臨床研究グループ[5], 中村 雅也[1], 渡辺 航太[1] (1.慶應義塾大学医学部 整形外科学教室, 2.理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム, 3.Center for Translational Research, Scottish Rite for Children, 4.済生会横浜市東部病院 整形外科, 5.日本側弯症臨床研究グループ)

[M1-5]

思春期特発性側弯症に対するゲノムワイド関連解析の国際メタ解析

International meta-analysis of genome-wide association study on adolescent idiopathic scoliosis

○岩見 卓朗[1,2], 大伴 直央[1,2], 米澤 嘉朗[1], 武田 和樹[1], 日本側彎症臨床 学術研究グループ[3], 松本 守雄[1], 中村 雅也[1], 渡辺 航太[1] (1.慶應義塾大学医学部 整形外科学教室, 2.理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム, 3.日本側彎症臨床学術研究グループ)

©一般社団法人日本側彎症学会

SRS lectures

2024年11月1日(金) 10:15 ~ 11:45 第1会場

## SRS lectures

座長: 酒井 大輔（東海大学医学部外科学系 整形外科学）

[SRS-1]

The Impact of big data, biomarkers, patient specific devices and digital twins in Adult Deformity Surgery process optimization

Christopher Ames (University of California, San Francisco (UCSF))

---

[SRS-2]

The challenging spine: From pre-operative digital 3d planning to intra-operative difficult fixation

Marinus de Kleuver (Radboud University Medical Center)

---

[SRS-3]

Current Concepts in the Treatment of Pediatric Spinal Deformity: The Intersection of Master Craftsmanship and Innovative Technology

Suken Shah (Nemours Children’s Hospital, Wilmington, Delaware, USA)

---

©一般社団法人日本側彎症学会

ランチョンセミナー

2024年11月1日(金) 12:00 ~ 13:00 第1会場

## ランチョンセミナー1

座長: 松本 守雄（慶應義塾大学病院）

メドトロニックソファモアダネック株式会社

[LS1]

小児脊柱変形治療におけるコツと落とし穴

Knack & Pitfalls in the Treatment of Spinal Deformity

川上 紀明 (社会医療法人杏嶺会一宮西病院 整形外科・脊椎側彎センター)

©一般社団法人日本側彎症学会

山田・井上メモリアルレクチャー

2024年11月1日(金) 13:40 ~ 14:40 第1会場

## 山田・井上メモリアルレクチャー

座長: 柳田 晴久（福岡市立こども病院 整形・脊椎外科）

[ML]

これからの時代の脊柱変形の手術治療を考える

Considering surgical treatment for spinal deformity in the future

種市 洋 (獨協医科大学 整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 14:50 ~ 15:38 第1会場

## 一般演題1 EOS 治療成績と合併症

座長: 谷口 優樹（東京大学医学部附属病院 整形外科）

[O1-1]

アンカー設置部分のみの皮膚切開と全長皮膚切開での初回growing rod挿入の比較
Comparison of first surgery of growing rod technique between short skin incision and a full-length skin incision

○小田 孔明[1], 篠原 健介[2], 魚谷 弘二[1], 志渡澤 央和[1], 鷹取 亮[1], 尾崎 敏文[1] (1.岡山大学 学術研究院医歯薬学域生体機能 再生・再建学講座（整形外科）, 2.岡山大学 学術研究院医歯薬学域 運動器スポーツ医学講座)

[O1-2]

Growing Rod施行症例法における椎体形態の変化 -5年経過例の調査-
Morphological changes of vertebral bodies in patients treated with traditional dual growing rod.

○北村 大樹, 稲見 聡, 森平 泰, 高畑 雅彦, 菅藤 智哉, 高田 知史, 土井 一雄, 種市 洋 (獨協医科大学病院 整形外科)

[O1-3]

早期発症側弯症に対するGrowing rodの治療成績ー治療終了例の検討
Radiographical Outcomes of Growing Rods for Early-Onset Scoliosis: An Examination of Completed Cases

○渡辺 航太, 武田 和樹, 鈴木 悟士, 伊賀 隆史, 大久保 寿樹, 尾崎 正大, 名越 慈人, 松本 守雄, 中村 雅也 (慶應大学整形外科)

[O1-4]

早期発症側弯症に対するShilla growth guidance systemの治療成績
Clinical outcome of Shilla growth guidance system for early onset scoliosis

○齊藤 敏樹, 川上 紀明, 大里 倫之, 宮下 直人, 大谷 昴平 (一宮西病院 整形外科 脊椎側弯センター)

[O1-5]

早期発症側弯症に対する新しいGrowth guidance法の治療経験 -最終固定まで至った症例の検討-
Case study of the new growth guidance surgery for early-onset scoliosis -Two cases in which definitive fusion was performed-

○伊藤 雅明, 中島 慶太, 鈴木 哲平, 宇野 耕吉 (国立病院機構 神戸医療センター 整形外科)

[O1-6]

早期発症型側弯症(EOS)に対するOne-way Self-expanding rod (OWSER)を用いたgrowth guidance surgery‐前向き研究ー
Growth guidance surgery with One-Way Self-Expanding Rods (OWSER) for early onset scoliosis -Prospective study-

○町田 正文, 町田 真理 (埼玉県立小児医療センター 整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

シンポジウム

2024年11月1日(金) 15:45 ~ 17:15 第1会場

## シンポジウム 側弯症学校検診の未来展望

座長: 伊東 学（国立病院機構 北海道医療センター 整形外科）, 渡邉 航太（慶應義塾大学 整形外科）

[SY-1]
機器を用いた側弯症学校検診 ー全国展開に向けた日本側彎症学会の取り組みー
Efforts of Japanese scoliosis society for implementation of the nationwide uniform school scoliosis screening using equipment
黒木 浩史 (国立病院機構宮崎東病院 整形外科)

---

[SY-2]
検診マニュアル作成の実情
中西 智也 (NTTデータ)

---

[SY-3]
香川県における脊柱側弯症専用機器検診事業について
山田 那央子 (香川県教育委員会事務局 保健体育課)

---

[SY-4]
３Dバックスキャナーを用いた側弯症学校検診 〜徳島県2023年度モデル校の検証〜
School Screening for Scoliosis Using a 3D Back Scanner -Verification in Tokushima Prefecture 2023-
○山下 一太, 西良 浩一 (徳島大学 運動機能外科学教室（整形外科）)

---

[SY-5]
学校検診の未来予想図ー小児科・小児循環器医の視点からー
Future Vision of The School Health Screening: A Perspective from Pediatrician and Pediatric Cardiologist
山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

---

[SY-6]
学校の定期健康診断における脊柱の検査について
堤 俊太郎 (文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課)

---

©一般社団法人日本側彎症学会

イブニングセミナー

2024年11月1日(金) 17:20 ~ 18:20 第1会場

## イブニングセミナー

座長: 宇野 耕吉（独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター）

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

[ES-1]

脊椎外科における“匠の技”、それは洗練され確実性を高めた基本手技

The "Art of the Master" in Spine Surgery: Basic Techniques with Sophistication and Certainty

清水 敬親 (榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター 整形外科)

---

[ES-2]

長期成績に基づいた思春期特発性胸椎側弯症の手術戦略

Surgical strategies for thoracic adolescent idiopathic scoliosis based on the long-term outcomes

○大橋 正幸[1], 渡辺 慶[1,2], 平野 徹[3], 長谷川 和宏[2] (1.新潟大学 整形外科, 2.新潟脊椎外科センター, 3.魚沼基幹病院 整形外科)

---

©一般社団法人日本側彎症学会

症例検討セッション（乳幼児脊柱変形）

2024年11月1日(金) 8:55 ~ 10:05 第2会場

## 症例検討セッション（乳幼児脊柱変形）

座長: 鈴木 哲平（国立病院機構神戸医療センター 整形外科）, 齊藤 敏樹（一宮西病院 整形外科）

[C-1]

脊髄性筋萎縮症1型の脊柱変形：長期自然経過の1例報告

○塚中 真佐子[1], 正本 和誉[2], 谷田 司明[2] (1.滋賀県立小児保健医療センター 整形外科, 2.滋賀県立総合病院脊椎脊髄センター)

[C-2]

呼吸器障害を伴った胸椎前側弯症に対して後方矯正固定術を行った一例

○井上 陽, 渡辺 航太, 鈴木 悟士, 武田 和樹, 伊賀 隆史, 大久保 寿樹, 尾崎 正大, 名越 慈人, 松本 守雄, 中村 雅也 (慶應義塾大学病院 整形外科)

[C-3]

両下肢不全麻痺と排尿障害を呈したcongenital wedged vertebraを伴ったSotos症候群の1例

○谷田 司明[1], 塚中 真佐子[2] (1.滋賀県立総合病院脊椎脊髄センター, 2.滋賀小児保健医療センター整形外科)

[C-4]

Achondroplasiaに生じた後弯症に対する保存療法

○樫本 晃樹, 川上 紀明, 斎藤 敏樹, 大里 倫之, 宮下 直人 (医療法人杏嶺会 一宮西病院)

[C-5]

先天性多発関節拘縮症における重度側弯症の治療経験

○梅香路 英正, 野原 亜也斗, 佐藤 真亮, 小口 史彦, 小野 貴司 (JCHO 東京新宿メディカルセンター 脊椎脊髄外科)

[C-6]

骨性中隔を有する割髄症を伴う神経原性側弯症の1例

○竹下 祐次郎, 三好 光太 (横浜労災病院 整形外科・脊椎脊髄外科)

[C-7]

脳肋骨下顎症候群（Cerebro-Costo-Mandibular syndrome: CCMS）を併発した症候群性側弯症の手術治療経験;症例報告

○大里 倫之, 川上 紀明, 齊藤 敏樹, 宮下 直人, 大谷 昂平 (一宮西病院 整形外科 脊椎側弯センター)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 10:10 ~ 10:58 第2会場

## 一般演題2 学校検診

座長: 米澤 郁穂（東京蒲田病院脊椎センター）

[O2-1]
静岡県の脊柱側弯症検診の現状と課題
Current Status and Challenges of Scoliosis Screening in Shizuoka Prefecture
○藤本 陽, 滝川 一晴 (静岡県立こども病院 整形外科)

[O2-2]
宮崎県における側弯症学校検診の現状
Current Status of school scoliosis screening in Miyazaki
○永井 琢哉[1], 黒木 浩史[2], 比嘉 聖[1], 帖佐 悦男[1] (1.宮崎大学 整形外科, 2.国立病院機構 宮崎東病院)

[O2-3]
山口県宇部市山陽小野田市の側弯症検診ー16年間のまとめー
Scoliosis screening in Ube City and Sanyo Onoda City, Yamaguchi Prefecture - Summary of 16 years-
小野 直司 (小野整形外科クリニック)

[O2-4]
側弯症検診の地域差と初診時Cobb角の検討
The association between regional differences based on the screening methods and severity of scoliosis
○八幡 健一郎[1], 両角 直樹[2] (1.東北大学 医学部 整形外科, 2.仙台西多賀病院)

[O2-5]
社会実装を目指した、脊柱側弯症発見支援装置：電子式腰背部傾斜計[ScolioDevice] の開発
Development and Social Implementation of trunk Inclinometer: ScolioDevice for Scoliosis Screening
○今井 充[1], 小林 徹也[1], 須貝 保徳[2] (1.旭川医科大学 整形外科学講座, 2.電制コムテック株式会社)

[O2-6]
脊柱側弯症検診における自動縞数支援ソフトの精度の検討
Validation of the Accuracy of Automated Stripe Number Measurement Support Software in Scoliosis Screening
○杉山 仁美, 神宮字 広明, 阿部 勝已 (公益財団法人 東京都予防医学協会)

©一般社団法人日本側彎症学会

ランチョンセミナー

2024年11月1日(金) 12:00 ~ 13:00 第2会場

## ランチョンセミナー2

座長: 細金 直文（杏林大学医学部整形外科）

ニューベイシブジャパン株式会社

[LS2]

Adult Spine Deformity Surgery in the United States in 2024: Troubling trends and promising future alternatives

Rajiv Sethi (Virginia Mason Medical Center, Seattle, USA)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 14:50 ~ 15:46 第2会場

## 一般演題3 成人脊柱変形 1

座長: 田中 雅人（独立行政法人労働者健康安全機構岡山ろうさい病院 整形外科）

[O3-1]

PIの大きさで脊椎骨盤アライメントの自然経過がことなるか

PI impact the natural course of spinopelvic alignment?

○大和 雄, 長谷川 智彦, 吉田 剛, 坂野 友啓, 大江 慎, 有馬 秀幸, 山田 智裕, 井出 浩一郎, 黒須 健太, 村上 悠介, 松山 幸弘 (浜松医科大学 整形外科)

[O3-2]

脊柱矢状面アライメント異常が骨粗鬆症患者の1年後の身長短縮に関与する

Spinal sagittal malalignment might be associated with body height loss after 1 year in osteoporosis patients

○野苅家 舜, 宮城 正行, 黒田 晃義, 横関 雄司, 白澤 栄樹, 三村 悠祐, 田中 慶秀, 井村 貴之, 中澤 俊之, 井上 玄, 高相 晶士 (北里大学 医学部 整形外科学)

[O3-3]

脊柱矢状面アライメント異常と栄養状態不良が新規椎体骨折発生に関与する

Spinal Sagittal Malalignment and Malnutrition might be associated with Incidence of New Vertebral Fractures in Osteoporotic Patients

○新道 明彦, 横関 雄司, 宮城 正行, 黒田 晃義, 白澤 栄樹, 三村 悠祐, 井村 貴之, 中澤 俊之, 井上 玄, 高相 晶士 (北里大学 医学部 整形外科学)

[O3-4]

一般住民における矢状面バランス不良とQOLとの関係-椎体骨折の影響の検討（LOHAS）

The relationship between sagittal imbalance and quality of life in the general population - Effect of vertebral fracture(LOHAS)

○渡邉 和之[1,2], 大谷 晃司[2], 関口 美穂[2], 二階堂 琢也[2], 加藤 欽志[2], 小林 洋[2], 富永 亮司[2], 中村 正隆[2], 矢吹 省司[2], 松本 嘉寛[2] (1.福島県立医科大学脊椎脊髄外科アカデミー, 2.福島県立医科大学整形外科)

[O3-5]

成人脊柱変形患者の脊柱骨盤アライメントと体幹および四肢の骨格筋量の関係

Correlation between radiographic sagittal alignment and skeletal muscle mass of trunk and limbs in adult spinal deformity

○大場 哲郎, 田中 伸樹, 水上 魁, 遠藤 とも香, 波呂 浩孝 (山梨大学整形外科)

[O3-6]

成人脊柱変形患者の傍脊柱筋が術前後のロコモティブシンドロームの改善に及ぼす影響

The Impact of Paraspinal Muscles on the Improvement of Physical Function and Locomotive syndrome after Adult Spinal Deformity Surgery

○遠藤 とも香, 大場 哲郎, 田中 伸樹, 水上 魁, 波呂 浩孝 (山梨大学 医学部 整形外科)

[O3-7]

歩行時体幹前傾角の縦断変化に関連するX線項目および身体機能の検討

Radiographic spinopelvic parameter and physical function related to longitudinal change of ambulatory kyphosis

©一般社団法人日本側彎症学会

○千葉 恒[1], 小林 徹也[2], 今井 充[2] (1.北海道社会事業協会 介護老人保健施設ふらの リハビリテーション科, 2.旭川医科大学整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 15:55 ~ 16:43 第2会場

## 一般演題4 成人脊柱変形 2

座長: 八木 満（国際医療福祉大学医学部 整形外科学教室）

[O4-1]

変性側弯を伴う成人脊柱変形において側方すべりは軸回旋変形を反映する

Lateral spondylolisthesis reflect with axial rotation in adult spinal deformity with degenerative scoliosis

○高取 良太[1], 竹浦 信明[2], 清水 佑一[2], 森田 尚宏[2], 石橋 秀信[2], 北中 重行[3], 外村 仁[2], 長江 将輝[2], 高橋 謙治[2] (1.松下記念病院 整形外科, 2.京都府立医大大学院 運動器機能再生外科学（整形外科）, 3.西陣病院 整形外科)

[O4-2]

術前T1slope40°以上の成人脊柱変形手術では，術後非固定椎である頚胸椎アライメントが術後5年では悪化している

In ASD Surgery with Preoperative T1 Slope>40°, the Cervicothoracic Alignment of Non-Fixed Vertebrae Deteriorates 5 Years Postoperatively

○村上 悠介[1,2], 大江 慎[1], 大和 雄[1], 長谷川 智彦[1], 吉田 剛[1], 坂野 友啓[1], 有馬 秀幸[1], 井出 浩一郎[1], 山田 智裕[1], 黒須 健太[1], 松山 幸弘[1] (1.浜松医科大学 整形外科, 2.愛媛大学 整形外科)

[O4-3]

成人脊柱変形術後PI-LL＞10°を許容できる患者の特徴は？

What are the characteristics of patients who can accept PI-LL more than 10 degrees after adult spinal deformity surgery?

○上本 真輝, 石原 昌幸, 谷 陽一, 足立 崇, 川島 康輝, 小野 直登, 谷口 慎一郎, 齋藤 貴徳 (関西医科大学 整形外科)

[O4-4]

高齢者成人脊柱変形に対する矯正手術で矢状面のunder correctionでは治療成績が劣るか？

Does under correction of sagittal alignment have inferior clinical outcomes in corrective surgery for adult spinal deformity in the elderly?

○高見 正成, 筒井 俊二, 山田 宏 (和歌山医大 整形外科)

[O4-5]

80歳以上の高齢者に対する成人脊柱変形手術の成績

Outcomes of adult spinal deformity surgery in octogenarians

○加藤 壯[1], 谷口 優樹[1], 河村 直洋[2], 中元 秀樹[1], 半井 宏侑[1], 田中 栄[1], 大島 寧[1] (1.東京大学 医学部 整形外科・脊椎外科, 2.日本赤十字社医療センター)

[O4-6]

栄養学的観点からみた成人脊柱変形における一期的後方手術と二期的前方後方手術の比較

Comparison of one-stage posterior surgery and two-stage anterior-posterior surgery in adult spinal deformity from a nutritional perspective

○入江 桃, 久保田 健介, 前田 健 (総合せき損センター 整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 8:55 ~ 9:43 第3会場

## 一般演題5 診断・評価 1

座長: 和田 簡一郎（弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座）

[O5-1]

特発性側弯症患者の骨成熟度評価の信頼性：Risser sign、Proximal Femur分類、Proximal Humeral分類の比較検討

The intra-rater and inter-rater reliability of the Risser sign, Proximal Femur Maturity Index, and Proximal Humeral Ossification System

○中西 竜一朗, 筒井 俊二, 高見 正成, 山田 宏 (和歌山県立医科大学 整形外科学講座)

---

[O5-2]

特発性側弯症患者において最も成長が速いのはいつ？Sanders Maturation Stages 2, 3A, 3B, 4における脊椎高と身長の比較

When is Growth Greatest? Spine and Total Body Growth in Idiopathic Scoliosis Through Sanders Maturation Stages 2 to 4

○堀 悠介[1], Bryan Menapace[2], Burak Kaymaz[2], Luiz Carlos Silva[2], 磯貝 宜広[2], Sadettin Cifti[2], Kenneth Rogers[2], Petya Yorgova[2], Peter Gabos[2], Suken Shah[2] (1.大阪市立総合医療センター 側弯症センター, 2.Department of Orthopaedic Surgery, Nemours Children's Hospital)

---

[O5-3]

骨成熟完了と判断し装具終了した後の経過-PFMI (Proximal Femur Maturity Index) とRisser signの関係 -

The curve progression after termination of bracing-The relationship between PFMI (Proximal Femur Maturity Index) and Risser sign-

○志渡澤 央和[1], 三澤 治夫[2], 小田 孔明[1], 鉄永 倫子[1], 魚谷 弘二[1], 篠原 健介[1], 植田 昌敬[1], 鷹取 亮[1], 山下 和貴[1], 尾崎 敏文[1] (1.岡山大学病院 整形外科, 2.竜操整形外科病院)

---

[O5-4]

思春期特発性側弯症の進行に潜在性二分脊椎は危険因子となるか？

Is spina bifida occulta a risk factor for the progression of adolescent idiopathic scoliosis?

○三澤 晶子[1], 本郷 道生[2], 工藤 大輔[3], 若林 玲奈[4], 宮腰 尚久[3] (1.秋田県立医療療育センター 整形外科, 2.秋田大学 大学院 理学療法学, 3.秋田大学 大学院 整形外科, 4.湖東厚生病院 整形外科)

---

[O5-5]

日本版側弯症QOL質問表(SJ-27)を用いた治療成績評価の新提案：ドメインでの評価は有効である

A New Proposal for Outcome Evaluation Using Scoliosis Japanese Questionnaire (SJ-27): Effectiveness of Domain-Based Assessment

○菅原 亮[1], 勝又 勇樹[2], 八幡 健一郎[3], 土肥 透[4], 竹下 克志[5] (1.JCHO仙台病院 脊椎外科センター, 2.JCHO仙台病院 整形外科, 3.東北大学 整形外科, 4.東京女子医科大学 整形外科, 5.自治医科大学 整形外科)

---

[O5-6]

日本人思春期特発性側弯症手術患者におけるSRS-22rのMCID値の検討：Coplanar法による統一術式の多施設共同研究

Investigation of SRS-22r MCID in Japanese Adolescent Idiopathic Scoliosis Patients: Multicenter Study Using Coplanar Method

©一般社団法人日本側彎症学会

○片柳 順也[1], 種市 洋[2], 森平 泰[2], 山田 勝崇[3], 野尻 英俊[4], 友利 正樹[5], 村上 悠介[6], 明田 浩司[7], 永井 琢哉[8], 中村 英一郎[9], 大谷 和之[10], 二階堂 琢也[11], 都島 幹人[12], 豊田 宏光[13] (1.獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科, 2.獨協医科大学 整形外科学, 3.横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 整形外科, 4.順天堂大学医学部 整形外科学講座, 5.済生会川口総合病院 整形外科, 6.愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学, 7.三重大学大学院医学系研究科 運動器外科学, 8.宮崎大学医学部 整形外科, 9.産業医科大学 整形外科学教室, 10.九段坂病院 整形外科, 11.福島県立医科大学 整形外科学講座, 12.江南厚生病院 整形外科, 13.大阪公立大学 整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 9:50 ~ 10:46 第3会場

## 一般演題6 診断・評価 2

座長: 本郷 道生（秋田大学保健学専攻理学療法学講座）

[O6-1]

思春期特発性側弯症Lenkeタイプ1に対する後方矯正固定術前の体表面高低差の検討

Height difference of body surface before posterior corrective fixation for Lenke classification type1 adolescent idiopathic scoliosis.

○山之内 健人, 武田 和樹, 鈴木 悟士, 伊賀 隆史, 大久保 寿樹, 尾崎 正大, 名越 慈人, 松本 守雄, 中村 雅也, 渡辺 航太 (慶應義塾大学 医学部 整形外科)

---

[O6-2]

3次元ポリゴンモデルを用いた思春期特発性脊柱側弯症Lenke type 5における腰椎カーブの形態的特徴

Morphological characteristics of the lumbar curve in adolescent idiopathic scoliosis Lenke type 5 using a three-dimensional polygonal model.

○清水 佑一[1], 高取 良太[2], 竹浦 信明[1], 森田 尚宏[1], 石橋 秀信[1], 外村 仁[1], 長江 将輝[1], 井上 望[3], 高橋 謙治[1] (1.京都府立医科大大学大学院 運動器機能再生外科学(整形外科), 2.松下記念病院 整形外科, 3.Rush医科大学 整形外科)

---

[O6-3]

特発性側弯症の主胸椎カーブにおける各分節での回旋変形の三次元的評価

Three-dimensional evaluation of segmental rotational deformity in main thoracic curvature of idiopathic scoliosis

○田仕 英希[1], 大橋 正幸[2], 湊 圭太郎[2], 渋谷 洋平[2], 佐藤 雅之[2], 久保田 美緒[2], 川島 寛之[2] (1.新潟大学大学院 医歯学総合研究科 フレイル予防のための運動器科学講座, 2.新潟大学 整形外科)

---

[O6-4]

EOS edgeによる骨盤パラメーターと仙骨矢状面弯曲形態の関係

Relationship Between Sagittal Sacral Morphology and Spinal-Pelvic Parameters: Insights from EOS Edge Imaging

○宮下 直人, 川上 紀明, 齊藤 敏樹, 大里 倫之 (一宮西病院 整形外科)

---

[O6-5]

少子化の日本においても未成年の側弯症手術数は増加している

Number of scoliosis surgeries for minors is increasing in Japan, even with declining birthrates

永田 向生 (東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科)

---

[O6-6]

腰椎変性疾患患者におけるCanal Bone Ratio（CBR）を用いた骨密度評価の有効性と骨粗鬆症診断のためのカットオフ値の確立

Establishing the Efficacy of CBR for Bone Density Assessment for Osteoporosis Diagnosis in Patients with Lumbar Degenerative Diseases

○檜山 明彦, 酒井 大輔, 渡辺 雅彦 (東海大学医学部外科学系整形外科学)

---

[O6-7]

骨密度情報のないFRAXスコアは成人脊柱変形手術後のProximal junctional kyphosisの危険因子として妥当か？

©一般社団法人日本側彎症学会

FRAX Without BMD Predicts Postoperative Proximal Junctional Kyphosis and Vertebral Fracture in Adult Spinal Deformity Surgery

○片柳 順也[1], 小沼 宏樹[1], 飯田 尚裕[2] (1.獨協医科大学埼玉医療センター, 2.手稲渓仁会病院)

©一般社団法人日本側彎症学会

ランチョンセミナー

2024年11月1日(金) 12:00 ~ 13:00 第3会場

## ランチョンセミナー3

座長: 西田 康太郎（琉球大学大学院医学研究科 整形外科学講座）

日本ストライカー株式会社

[LS3]

脊柱変形に対する長期的視点に基づいた手術計画の立案の重要性 -治療効果がより長持ちをする術式の探求-

The importance of surgical planning based on a long-term perspective for spinal deformity-the exploration for procedures with longer-lasting effects-

金子 慎二郎 (学校法人藤田学園 藤田医科大学医学部 脊椎外科学講座)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 14:50 ~ 16:02 第3会場

## 一般演題7 AIS 保存治療

座長: 藤原 憲太（土居整形外科）, 茶薗 昌明（国立病院機構宇都宮病院 整形外科）

[O7-1]

男子思春期特発性側弯症カーブ進行の自然経過-単施設199例の後ろ向き縦断コホート研究-
Natural history of curve progression in adolescent idiopathic scoliosis in boys: A retrospective longitudinal cohort study of 199 Cases

○小方 陽介[1,2], 小谷 俊明[1], 大山 秀平[3], 佐久間 毅[1], 飯島 靖[1], 奥脇 駿[2], 坂下 孝太郎[2], 角南 貴大[2], 水谷 雅哉[1], 赤澤 努[4], 南 昌平[1], 大鳥 精司[1], 山崎 正志[2] (1.聖隷佐倉市民病院 整形外科, 2.筑波大学 整形外科, 3.千葉大学大学院 整形外科, 4.聖マリアンナ医科大学・整形外科)

[O7-2]

思春期特発性側弯症の装具治療の指標 -装具遵守を含めた装具内矯正率による進行予測の解析-
Optimizing Brace Treatment in Adolescent Idiopathic Scoliosis: Analysis of Progression Prediction Based on In-Brace Correction Rate Including Brace Compliance

○坂下 孝太郎[1], 朝田 智之[1], 小谷 俊明[1], 佐久間 毅[2], 飯島 靖[2], 小方 陽介[1], 赤澤 努[3], 南 昌平[2], 大鳥 精司[4], 山崎 正志[1] (1.筑波大学 整形外科, 2.聖隷佐倉市民病院 整形外科, 3.聖マリアンナ医科大学 整形外科, 4.千葉大学 整形外科)

[O7-3]

側弯症装具治療の開始年齢と生活環境の変化による装着時間への影響
Patients with AIS Who Started Bracing in Middle School Experienced Poor Compliance, Not Those Entering Middle School

○木村 弘美[1], 大崎 美奈子[1], 朝田 智之[2,3], 小谷 俊明[2], 佐久間 毅[2], 飯島 靖[2], 水谷 雅哉[2], 坂下 孝太郎[3], 南 昌平[2] (1.聖隷佐倉市民病院 看護部, 2.聖隷佐倉市民病院 整形外科, 3.筑波大学附属病院 整形外科)

[O7-4]

6か月時点で18時間以上の装具装着達成に関する因子の検討
Factors Associated with Achieving Optimal Bracing Compliance in Adolescent Idiopathic Scoliosis

○坂下 孝太郎[1], 小谷 俊明[2], 朝田 智之[1], 佐久間 毅[2], 飯島 靖[2], 小方 陽介[1], 赤澤 努[3], 南 昌平[2], 大鳥 精司[4], 山崎 正志[1] (1.筑波大学 整形外科, 2.聖隷佐倉市民病院 整形外科, 3.聖マリアンナ医科大学 整形外科, 4.千葉大学 整形外科)

[O7-5]

思春期特発性側弯症の装具治療におけるリスク因子の検討—Cobb角だけでなくCSV L から頂椎までの距離も重要である—
Investigation of Risk Factors in Brace Treatment for Adolescent Idiopathic Scoliosis

○寺本 樹里[1,2], 野尻 英俊[1,2], 中井 一輝[2], 菅原 佑太[1,2], 石橋 仁志[2], 志村 有永[1,2], 玉川 翔太[1,2], 高野 弘充[2], 石島 旨章[1,2] (1.順天堂大学 大学院 医学研究科 整形外科・運動器医学, 2.順天堂大学医学部整形外科学講座)

[O7-6]

思春期特発性側弯症における夜間装具療法の治療成績とリスク因子についての検討
The effectiveness and predictive factors for nighttime bracing treatment in adolescent idiopathic scoliosis

©一般社団法人日本側彎症学会

○滝 直也[1], 小沼 早希[1], 渡邉 英明[1], 竹下 克志[2], 瀬本 喜啓[3,4], 藤原 憲太[5] (1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児整形外科, 2.自治医科大学 整形外科, 3.社会医療法人美杉会 男山病院 整形外科, 4.社会医療法人美杉会 佐藤病院 整形外科, 5.医療法人 土居整形外科医院)

[O7-7]

夜間装具は側臥位になってもカーブ矯正には有効である

The Semoto-Nagano nighttime brace is effective even in their lateral position during sleeping.

○加藤 賢治[1], 鈴木 伸幸[1,2], 村上 英樹[1] (1.名古屋市立大学 医学部 整形外科, 2.名古屋市立大学 医学部 運動器健康増進医学寄附講座)

[O7-8]

思春期特発性側弯症に対してCheneau装具が胸椎後弯に与える影響

Effect of Cheneau bracing on thoracic kyphosis for adolescent idiopathic scoliosis

○岩沢 太司, 小原 徹哉, 町野 正明, 瀧村 浩介, 細川 佑太, 鷲見 聰 (名城病院 整形外科 脊椎脊髄センター)

[O7-9]

手指骨骨成熟度評価を指標とした思春期特発性側弯症に対する装具weaning開始時期の検討

The timing of brace weaning for adolescent idiopathic scoliosis using the hand skeletal maturity index

○茶薗 昌明, 澤田 尚武 (国立病院機構宇都宮病院 整形外科)

©一般社団法人日本側彎症学会

一般演題

2024年11月1日(金) 16:10 ~ 16:58 第3会場

## 一般演題8 先天性、症候性

座長: 山口 徹（福岡市立こども病院 整形・脊椎外科）

[O8-1]

小児における後方半椎切除術の治療成績

Clinical outcomes of posterior hemivertebra resection in children

○渡邉 英明[1], 滝 直也[1], 小沼 早希[1], 井上 泰一[2], 川上 紀一[3], 吉川 一郎[4], 竹下 克志[2] (1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児整形外科, 2.自治医科大学整形外科, 3.一宮西病院脊椎・側弯センター整形外科, 4.那須中央病院整形外科)

[O8-2]

半椎を伴う先天性脊柱側弯症の術後長期成績の検討

Long-term Outcomes of Surgery for Hemivertebrae: A Comparative Study by Age Group

○伊藤 達也, 鈴木 哲平, 中島 慶太, 伊藤 雅明, 川北 晃平, 宇野 耕吉 (国立病院機構神戸医療センター 整形外科)

[O8-3]

重度側弯症に対するposterior temporary internal distraction法を用いた2期的矯正固定術の手術成績

Surgical Outcomes of Two-Stage Corrective Fusion Surgery Using Posterior Temporary Internal Distraction Method for Severe Scoliosis

○千葉 佑介, 村上 秀樹, 山部 大輔, 鈴木 忠, 楊 寛隆, 土井田 稔 (岩手医科大学 整形外科)

[O8-4]

当院での神経線維腫症1型(NF-1)を伴う脊柱側弯症の外科的治療戦略と治療成績

Surgical outcomes in the treatment of spinal deformities associated with neurofibromatosis type 1

○橋本 将吾[1,2], 鈴木 悟士[1], 武田 和樹[1], 大久保 寿樹[1], 尾崎 正大[1], 名越 慈人[1], 松本 守雄[1], 中村 雅也[1], 渡辺 航太[1] (1.慶應義塾大学 医学部 整形外科, 2.NHO 村山医療センター 整形外科)

[O8-5]

成人に達した神経線維腫症1型脊柱変形手術例の検討

Adulthood consequences of spinal deformity surgeries in neurofibromatosis type 1 patients

○塚本 有彦[1], 宇野 耕吉[2], 鈴木 哲平[2], 伊藤 雅明[2], 中島 慶太[2] (1.札幌医科大学附属病院, 2.神戸医療センター)

[O8-6]

壮年期以降のマルファン症候群に伴う脊柱変形の手術治療

Surgical Treatment of Spinal Deformities Associated with Marfan Syndrome in Middle-aged and Older Adults

○谷口 優樹[1,2], 加藤 壮[1], 半井 宏侑[1], 中元 秀樹[1], 田中 栄[1], 大島 寧[1] (1.東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科, 2.東京大学医学部附属病院 手術部)

©一般社団法人日本側彎症学会